

防犯灯25機設置

町では、平成30年度宝くじ助成金で、要望のあった湯ノ口・湯・菅牟田集落など25集落に合計25機の防犯灯が設置されました。

この取り組みは、住民らが自主的に行うコミュニティ活動の促進と夜間の交通事故防止や犯罪を未然に防ぎ、地域の安心・安全を確保するためのものです。



↑設置された防犯灯(菅牟田)

第13回同期生対抗ソフトボール大会

9月18日から10月3日まで、第13回同期生対抗ソフトボール大会が城川内運動場と川床コミュニティ運動場で開催されました。

今大会は22歳から55歳までの32チームが出場。同期生同士の息の合ったプレーや学生時代の先輩後輩対決など、注目を集める試合に歓声が湧きました。

大会期間中、昭和37年度生まれで55歳の同期生チーム「タイガース」は大会史上、最高齢で出場した功績が認められ、町ソフトボール協会から功労賞を受賞しました。

監督の山本清喜さん(薄井)は「この年齢まで皆とプレーできて嬉しい。2勝して最年長の意地も見せれた」と喜びました。

大会結果は次のとおりです。

【優勝】ぐるさんず 【準優勝】p.t.y.b

【3位】うず、エゴイスト



↑優勝チーム「ぐるさんず」



↑最年長チーム「タイガース」



長島研醸有限会社の統一銘柄「さつま島美人」が昭和42年から販売され、愛飲者と島外への出荷量が増える中、地元酒販店は島内での消費が減少することを懸念しました。地元酒販店は新しい長島の特産品を開発したい思いから平成6年に「酒販同友会」を発足。同年、長島研醸の協力のもと、同会のオリジナル焼酎「さつま島娘」を生み出し、島内限定で販売しています。

誕生の背景

本町の酒販同友会(諏訪義則会長)のオリジナル焼酎「さつま島娘」が発売され、今年で25年目を迎えました。同会はさつま島娘の記念ボトル、限定5000本を島内の酒販店でのみ販売中です。諏訪会長は「会員の地道な販売努力と町民のかたの協力で徐々に島外のファンが増えた。今まで育てていただいたことに感謝し、これからも皆さんに愛される島娘であることを願う」と感慨深く話しました。

「娘」の誕生から25年

限定ボトルを販売